経済情勢の著しい悪化に伴う第５回景況調査（融資、小売店・飲食店・サービス業）

H21. 8. 28　産業部 商業観光課

1　現状調査及び分析

（１）各景況レポートからの情報

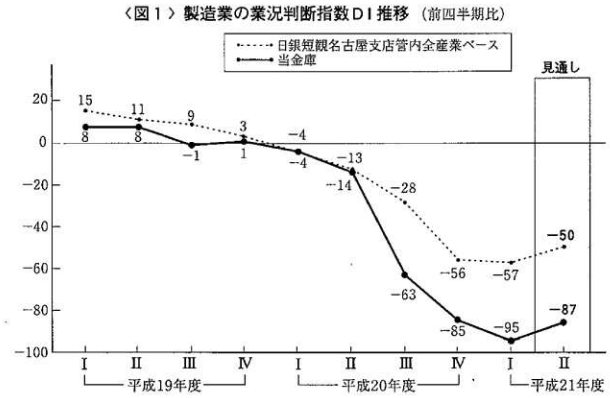
①H21 年 4 月－6 月期中小企業景況調査結果

全産業のＤ．Ｉ（景気動向指数・前年同期比）は売上額が▲50.6、採算は▲50.5、資金繰りは▲37.2 であったが、いずれのＤ．Ｉも悪化が見られる。(7 月 15 日　全国商工会連合会)

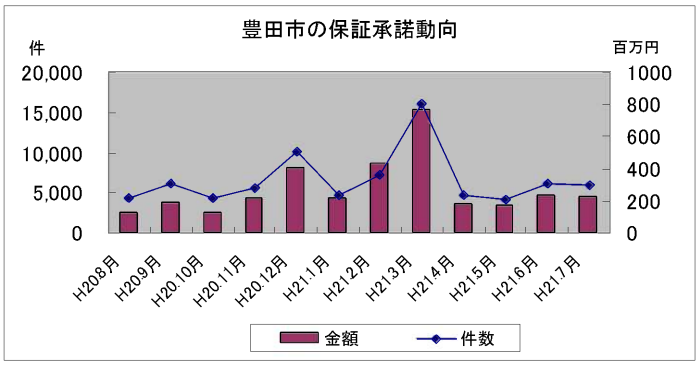
	4－6 月期の景況	7－9 月期の見通し
建設業	大幅に悪化	やや回復
製造業	悪化	やや回復
卸・小売業	やや悪化	低調に推移

②市内金融機関発表景況レポート 2009 年 7 月号

製造業の業況判断指数ＤＩ推移（前四半期比）



（２）豊田市における融資状況（愛知県信用保証協会が保証決定したもの）



相変わらずセーフティネット関連資金の実績が伸びている。H21 年 2 月、3 月には予想を大きく上回る融資実績となったが、資金需要時期を過ぎ、4 月以降は落ち着きを取り戻している。

◆業種別認定状況（平成 21 年 7 月 31 日現在）

年度	建設業	製造業	卸売業	小売業	運送業	その他	計
H20	295 件	413 件	65 件	141 件	43 件	202 件	1159 件
H21	141 件	202 件	32 件	46 件	21 件	136 件	578 件
合　計	436 件	615 件	97 件	187 件	64 件	338 件	1737 件

（３）豊田市の信用保証料緊急経済対策補助金の動向（平成 20 年 10 月 1 日～平成 21 年 6 月末現在）

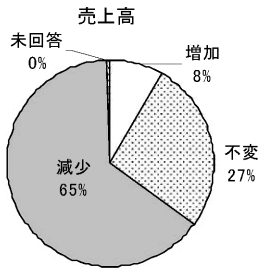
年度	振・振小・マルトヨ 補助率 75%⇒100%		経済対策特別資金 新規・補助率 100%		セーフティ５号関連 新規・補助率 100%		合　　計	
H20	406 件	62, 661, 300 円	216 件	94, 417, 700 円	627 件	341, 624, 200 円	1249 件	498, 703, 200 円
H21	206 件	24, 032, 400 円	63 件	38, 558, 100 円	631 件	331, 543, 900 円	900 件	394, 134, 400 円

・年度末の資金需要時期を過ぎ、5 月、6 月は 4 月の 1/3 程度の申請件数となった。

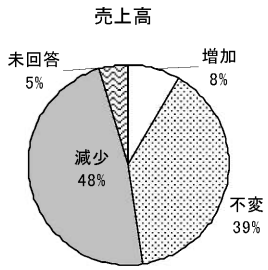
（４）商業者の現況（H21 年 7 月末～8 月上旬　商店街・商工会会員アンケート調査）

回収枚数 215 枚　小売業 64、サービス業 38、建設業 14、飲食業 47、その他 52

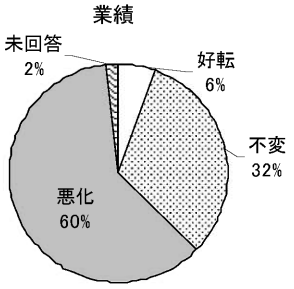
〇現在の状況（３ヶ月前比）



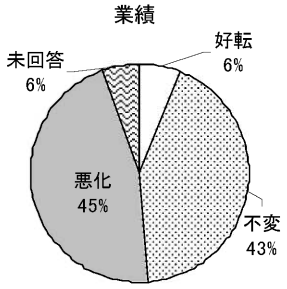
〇先行き見通し（当月を除く向こう３ヶ月）



○現在の状況（３ヶ月前比）

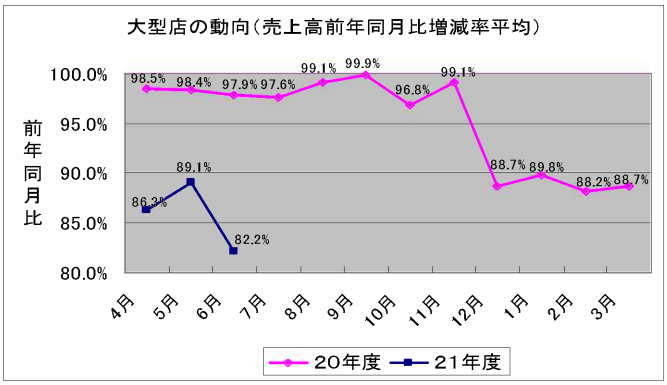


○先行き見通し（当月を除く向こう３ヶ月）



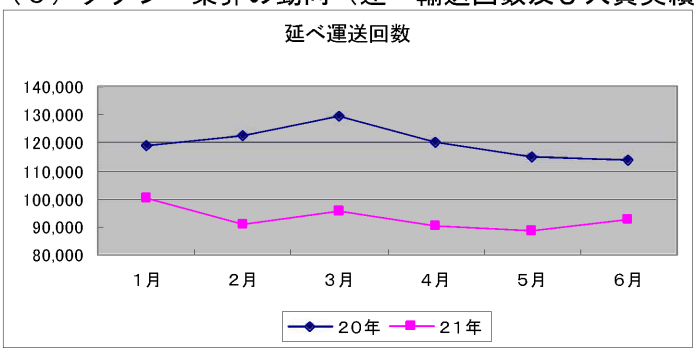
・業績は全業種で「悪化」が 60%となったが、今後の見通しでは 45%となっており、景気の下げ止まりがうかがえる。

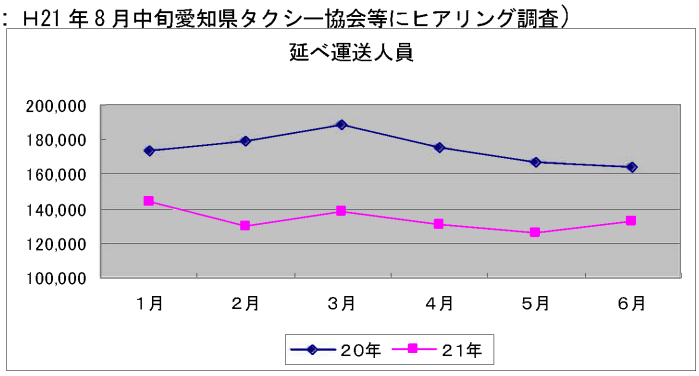
（５）大型店の動向（中心市街地大型店４社の売上高前年同月比：H21 年度 4 月～6 月の前年同月比）



・H21 年 4 月以降、調査対象４店全てで対前年比 80%台となっており、非常に厳しい状況が続いている。

（６）タクシー業界の動向（述べ輸送回数及び人員実績：H21 年 8 月中旬愛知県タクシー協会等にヒアリング調査）





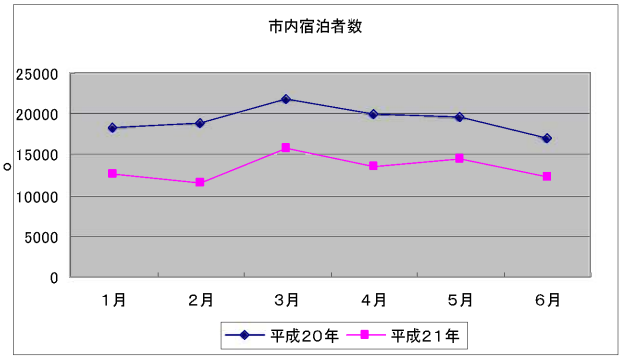
・2 月以降、運送回数・運送人員ともに前年比 25%程度となっていたが、6 月は 20%を切り、回復の兆しが見られる。

（７）ホテル旅館業界の動向

（H21 年 7 月末　市内 10 ホテル、旅館に調査）

・全体として昨年同時期に比べ３割減となっている。

・中心市街地、トヨタ自動車近郊の施設への影響が大きい。



２　まとめ

①年度末の資金需要時期を過ぎ、融資実績は多少落ち着いたものの、信用保証料緊急経済対策補助金は５月、６月でも例年に比べ５倍となっており、依然として中小企業の資金繰りが厳しいことがうかがえる。

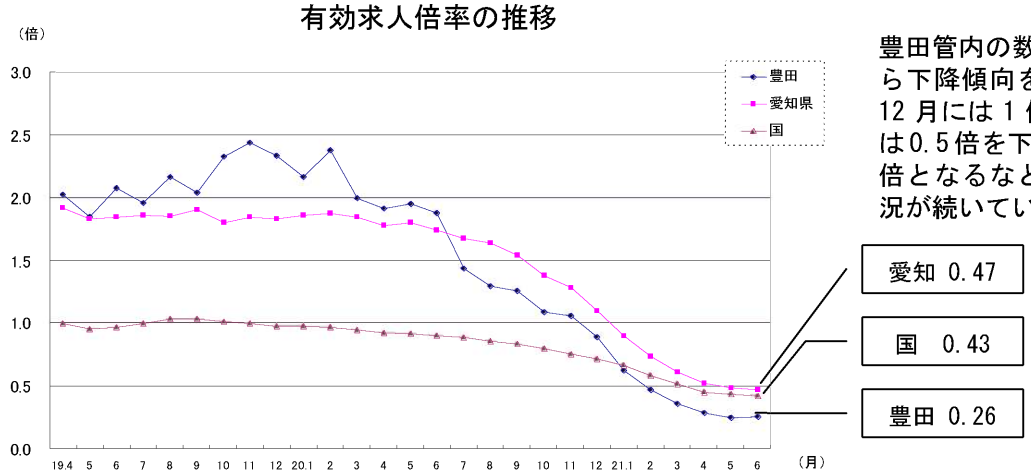
②１件当たりの融資金額は小口化の傾向にある。

経済情勢の著しい悪化に伴う第５回景況調査（雇用・製造業）

H21.8.28　産業部　産業労政課

１　有効求人倍率状況　（有効求人倍率＝月間有効求人数÷月間有効求職者数）

有効求人倍率の推移



豊田管内の数値は H20 年 6 月から下降傾向を続けており、同年 12 月には 1 倍を、H21 年 2 月には0.5倍を下回り､現在では0.26倍となるなど、非常に厳しい状況が続いている。

２　市内中小企業へのアンケート結果

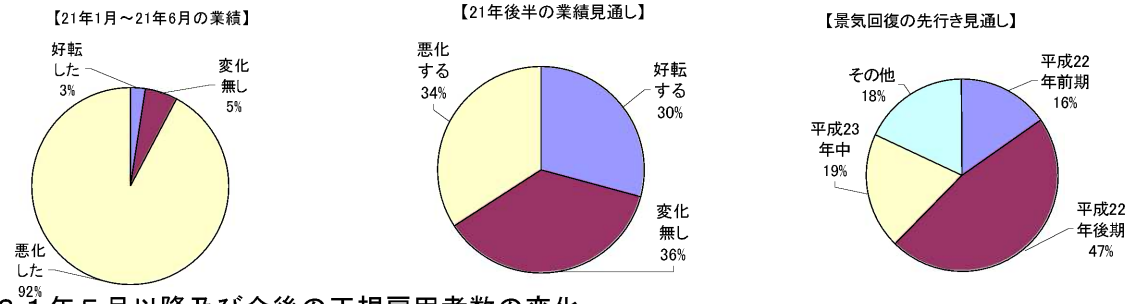
調査対象：市内中小企業　１９６社
調査期間：平成２１年７月３１日～８月１７日
回答数　：８３社　（回収率　４２．３％）

主な事業内容【社】	
自動車関連部品	34
生産設備	13
試作・金型	7
その他	29

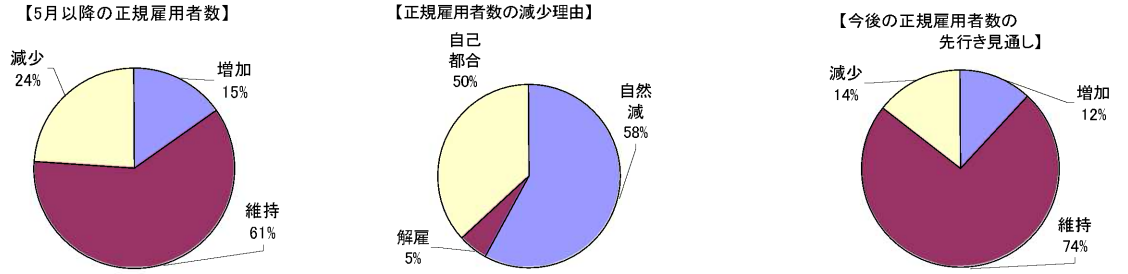
従業員数【社】	
300 人以上	4
300 人未満	71
未回答	8

（１）経営状況

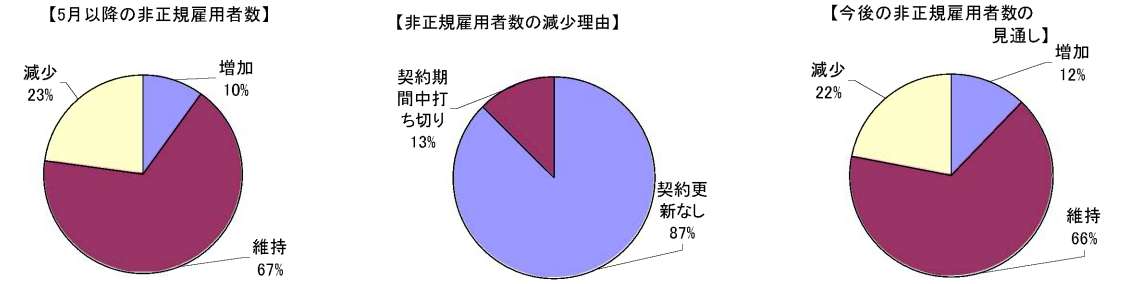
２１年前期（１月～６月）までの業績及び２１年後期の業績見通し



（２）２１年５月以降及び今後の正規雇用者数の変化



（３）２１年５月以降及び今後の非正規雇用者数の変化



３　まとめ

①　今年度前期の業績については、相変わらずほとんどの事業所が悪化と答えている。

②　今後の見通しについては、依然として悪化するとの回答があるものの、前回に比べて好転するとの回答が増えてきた。また、景気回復の時期については来年の後期とする見方が多い。

③　正規雇用者の動向については、維持又は増加すると答える事業所が増えてきたが、１４％の事業所が今後も減少の見通しであると答えている。

④　非正規雇用者の動向については、やや減少傾向が収まり、維持すると答える事業所が増えてきた。しかしながら、現在も２２％の事業所が減少と答えている状況から、雇用対策の手を緩めることはできない。

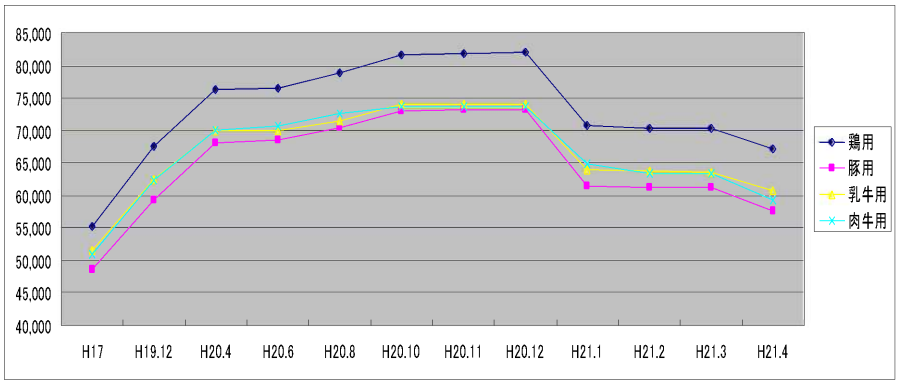
⑤　前回調査と同様に、人材育成に力を入れたいと答える事業所が多く、特に中堅及びリーダー層を対象とした内容が必要と答える事業所が多い。

⑥　業況の悪化に伴う対応としては、助成金や金融機関からの借入れによる資金対策、また、残業時間や稼働日の減少による生産調整での対応を図る事業所が多い。

配合飼料・肥料の農家購入価格の推移

H21.8.28　産業部　農政課

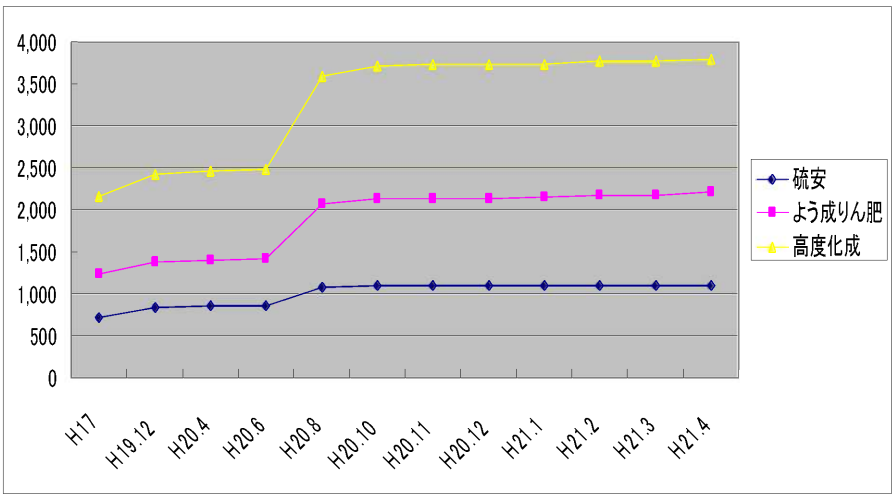
１　配合飼料の農家購入価格の推移（円／トン）　資料：農林水産統計



・H20.12 までは値上がりをしていたが、H21.1 時点では平均で 10,300 円程値下がった。

・H21.1 に値下がり後、変化がなかったが、H21.4 時点で若干の値下がりがあった。

２　肥料の農家購入価格の推移（円／20 kg）　資料：農林水産統計



・H20.8 時点に値上がりをし、H21.4 現在もそのままの状況である。

３　まとめ

① 畜産農家においては、飼料代が平成 21 年 1 月時点で値下がりしたため、若干ではあるが経営が安定してきていると思われる。

② 肥料については、平成 20 年 8 月時点で値上がりをし、現在も続いている。いつまでこの状態が続くのか不安を感じている農家もいる。